石東中だより

平成２７年度５月２０日
発行者：練馬区立石神井東中学校
校長　堀井安伸

伝統の継承と未来の創造！！

校長　堀井安伸

５月１日は本校の開校記念日でした。本校は、練馬区が板橋区から独立した年と同じ昭和２２年に開校し、今年で６８年目を迎えました。毎年、この開校記念日では、全校朝礼を行い、教員も生徒も一緒に本校の歴史と伝統を意識し、自分たちの学校に愛着を持つ良い機会にしています。校舎が、最初、現在の順天堂大学病院の場所に石神井東小学校と併設したところから始まり、地域の方々の努力によって現在の場所に落ち着いた経緯や、校章や校歌制定の経緯など、当時の先生方や生徒たちの思いを知り、それをしっかり受け止めながらも自身の未来を見つめていくことが大切だと思っています。

校歌の一節にある「大いなる未来みつめて」と「大いなる未来のために」は、まさに過去を大切にしながらも生徒たちの輝く未来をつくり続けることこそが、本校の伝統的な精神だと思っています。その時々に、在学していた生徒や教職員が、学校に対する熱い思いを描き、共につくりあげてきた様子が校章や校歌はもとより校舎の屋上に掲げた横断幕「心をひとつに」や体育館に掲げた「良きプレーヤーである前に良き中学生であれ」など、ひとつひとつにしっかりと刻まれています。

もう一つの伝統が、毎年、この時期の運動会です。今年は５月２３日（土）に開催いたします。他の学校では、見ない特徴ある石東体操や迫力ある男子の組み体操、切れのある動きの女子のソーラン節、３年生の百足競走など各種目は、まさに本校の伝統として受け継いできたものです。その中で、毎年見せてくれるのが３年生の力強い見事なリーダーシップと全校生徒が「心をひとつに」した集団行動です。今年も、見るものを感動させる運動会をつくり上げ、伝統を引き継いでいこうと生徒たちは日々努力しています。

ご近隣の皆様、支えていただいている地域の皆様、保護者の方々には、日頃より大変お世話なっておりますが、ぜひこの伝統の運動会をご覧いただきご声援をいただければ幸いです。

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

■体育館およびプール移設改築工事が始まります。

順天堂大学病院の入院棟増設に伴い、本校の体育館が本校敷地の北西部にある現順天堂大学病院駐車場の場所に移設改築することになりました。先月説明会が開催されましたが、体育館（屋内運動場）には、地下にプール、二階には武道場の他に防災備蓄倉庫も設置されます。アリーナは現在の体育館より広く、これまでなかった更衣室などの施設も整備されます。また、プールは冬場フタをして多目的室としても使用できるものです。

工事は、今年の１０月中旬に開始する予定です。その前に校舎一部改築工事が入りますので実質今年の６月から足場が組まれ、夏休みから工事が始まる予定です。完了予定は、平成２９年１１月下旬です。完了予定の平成２９年度は本校の７０周年にあたります。工事が予定通り完了し、新しい体育館で記念式典を開催できることを期待しています。工事の説明会は、先月２日に地域方々、２８日に保護者の方々向けに行われました。お問い合わせは下記までお願いします。

ご意見をお寄せください。０３－３９９６－２１５８（校長室）
ホームページ：http://www.shakujii-e-j.nerima-tky.ed.jp/